

「第 2 期加賀市子ども・子育て支援事業計画案」に対するご意見等の概要とその回答

- 1 意見募集期間 令和 2 年 3 月 6 日（金）～令和 2 年 3 月 19 日（木）
 2 意見等の提出者数 1 名
 3 意見等の件数 2 件

No.	ご意見の概要	ご意見への回答（対応）
1	<p>公立保育園の適正配置について</p> <p>公立保育園の再編計画の実績として示されているのは、従来からの基本方針（10 人以下で休園）によるもののみであり、再編計画の実績と言えるのか疑問である。</p> <p>今後、子どもの数が減少していくのは、紛れもない事実であり、再編計画の本来の目的である子どもの「社会性の育ち」を担保するために早急に具体的な取組を推進するよう期待する。</p>	<p>本市では、公共施設マネジメントと本市の少子化の現状や子育て世代を取り巻く環境の変化などに対応し、集団生活で得られる社会性の育ちを促すことができる保育環境を目指し、平成 28 年 3 月に加賀市公立保育園再編基本計画を策定し、公立保育園の再編を進めて参りました。</p> <p>これまで休園基準に該当したことにより三谷保育園、三木保育園が閉園し、令和 2 年 4 月には、山代保育園が閉園予定となっております。また、令和 2 年度中には、計画を前倒しした形で金明、湖北、潮津の 3 園が（仮称）片山津地区保育園に再編する予定となっております。</p> <p>これにより、計画策定時に 17 園あった公立保育園は、令和 2 年度中には、12 園に再編される予定となっております。</p> <p>今後も計画に基づき、しっかりと公立保育園の再編を進めて参ります。</p>
2	<p>教育・保育の量の見込みと確保方策について</p> <p>令和 2 年度～6 年度の見込みは、少子化により 200 人以上減少しているにも関わらず、確保量はほとんど変化がないため、年を追うごとに過剰になっている。確保量についても、再編計画と連動させて適正化すべきである。</p>	<p>教育・保育の確保方策は、将来推計等を踏まえ、公立保育園の再編を進める中で、今後も待機児童を生むことなく、不足することのない量を確保するよう見込んでおります。</p> <p>再編計画との連動につきましては、本計画「第 6 章 計画の推進」にあるとおり、計画策定後も加賀市健康福祉審議会こども分科会等において、実績等の点検、評価を行い、計画を適切に推進して参ります。</p>